



## お金に頼らない生活を求めて たどり着いた場所。

津南町にある築90年の古民家を改装し、家族3人+犬1匹で暮らす原田さん。  
理想としていた自給自足の生活は、この地で実現しつつあった。

### 「のびのび農園」 園主 原田義一さん

無理なく管理できる広さの田んぼと畑を持ち、生活はなるべく自給自足。全国の音楽イベントで演奏し、集まったお客さんに自分で育てた穀物を販売することで、最低限の生活費を得る。原田さんの暮らしはそんなスタイルだ。「きっかけはアイヌのお祭りに参加したことでした。都会で暮らす人たちとまったく違う価値観と出会ったことで、東京を出て『山の中で暮らしたい』と思うようになったんです」

奥さんは新潟県の出身。「農業をするなら津南町がいい」と聞き、町役場に空き家を探しに行ったところ、今の住居に出会う。一目惚れした。

「農業で必要となるのが水です。この家は、山から流れてきた湧き水が一番手で使える。ここならやりたいことが可能になると思いました」

津南町での暮らしを「めちゃくちゃ

楽しい」と話す原田さん。その理由はお金から離れられたからだそうだ。

「東京にいた頃は、仕事をしてたくさん給料をもらって、そのお金で気持ちを満たしているような状態。しかも自分の仕事は一部分しか見えない。今は種を植えるところから、それを食べる人に売るところまで全部が見える。豊かさの意味が完全に変わりました」

都会の暮らしと比べると、一見不便

な点もある。原田さんは「便利」の解釈を変えることが必要だと語る。

「たとえば薪割りはお金にならないけど、がんばったぶん冬の暮らしが豊かになります。どれだけ自分の当たり前をぶっ壊せるかによって、田舎暮らしの可能性は広がると思いますよ」

自分の力で新しい価値観を切り開いていくことも、新潟で暮らす魅力のひとつなのかもしれない。



「のびのびとした環境で子育てしたかった」と奥さん。



自宅横の畑でさまざまな野菜を育てている。



1. 原田さんが中心となり、津南町にある「なじよもん」という資料館でイベントを開催した。「津南町ではいろいろな能力を持った人たちが小さなコミュニティに集まっています。やりたい手を挙げると協力してくれる人がたくさんいるんです」 2. 薪割りは大変だが、暖を取るだけでなく、焼き芋などの恵みもくれる。 3. この家に住む決め手となった湧き水。「山から流れてきた水が24時間自由に使えるのは贅沢なこと。なるべく汚さずに使いたいと思っています」

## 雪も多いが、魅力も多い、津南町。

豪雪地帯ですが、夏には50万本のひまわりが満開に。  
四季の美しさを味わえる場所です。

### 地域の基本データ

津南町の概要 (2013年4月1日現在)

- ◆面積：170.28km<sup>2</sup>
- ◆人口：10,690人
- ◆主な産業：農業
- ◆主な産物：魚沼コシヒカリ、ユリ、葉たばこ、にんじん、アスパラガス、とうもろこし
- ◆保育、教育機関  
保育園：6、小学校：5、中学校：1、中等教育学校：1
- ◆医療機関  
病院：1、診療所：2、歯科診療所：4



### 松之山温泉

近くで移住仲間が暮らしているので、よく遊びに行くと、温泉に入ります。

Tokamachi-shi



### 十日町市

知り合いが主催するマーケットがあるので、よく出店しています。

Tsunan-machi



### 農と縄文の体験実習館「なじよもん」

竪穴式住居をイベントに使わせてもらえるなんて、なかなかいいですね。

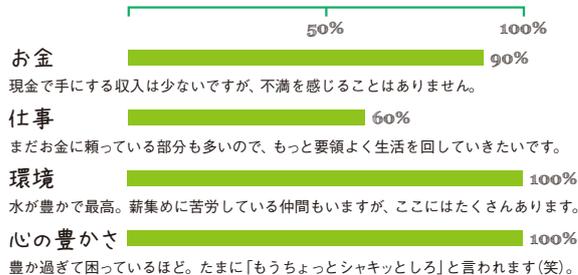
### 原田さんのプロフィール

「のびのび農園」園主  
原田義一さん 34歳

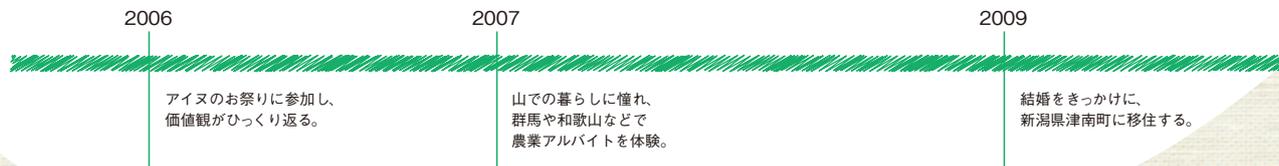
### message

今は移住してきている人も多いため、そういった人たちを見つけて仲間になるのがおすすめ。農村や山間地では、協力して何かをできる人たちがいるだけで暮らしがラクになります。ネットワークを作りましょう。

### 原田さんの津南町の満足度



### 原田さんの移住ストーリー



## あなたの「始めたい」を応援します。

- 暮らしたい市町村とのコーディネート
- 市町村や県の定住支援策等の紹介
- 公営住宅や空き家等の物件情報
- 田舎暮らし体験ツアーや体験施設、受け入れ先の紹介
- 農業を始めたい方へ、就農支援に関する情報



## にいがた暮らし相談窓口

### にいがたUターン情報センター

併設のにいがたUターン情報センターは、新潟での就職情報が充実！首都圏にいながら、新潟県内の最新の求人情報を入手することができ、ご希望の求人には、その場で紹介を受けられます。「新潟にU・Iターンしたいけれど、就職活動の方法が分からない」、「新潟にどのような求人があるのか知りたい」など、新潟の仕事に関する相談を何でも受け付けています。



相談時間 ◎10:30~18:30 (火曜日・祝日・年末年始は休み) TEL: 03-3479-1415 FAX: 03-5771-7714 e-mail: n-soudan@nico.or.jp 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟館ネバス2F

ホームページでは、10人の移住者の「にいがた暮らし」ライフスタイルを紹介！ <http://www.furusato-niigata.com/>

にいがた暮らし

検索